

第43回評議員会

地区活動を通し歯科医療の充実目指す

協会は第43回通常評議員会を5月19日、保険医会館で開き05・06年度活動のまとめ、情勢、07・08年度活動方針、決算報告案・07年度予算案など5議案が全会一致で採択された。評議員から地域における取り組みや、協会への期待など方針を支持する立場からの発言があった。

健康に暮らせるまちづくりを

平川 光彦評議員 (北大阪地区)

統一地方選挙の吹田市長選挙の取り組みのなかから、「健康に暮らせるまちづくりをめざす」という観点から発言する。最近の地方自治体の福祉抑制策はひどい。福祉政策がどんどん切り捨てられてきている。その

費は小学生まで所得制限なしで助成する、市独自の老人医療費一部助成も自己負担をゼロにするという回答を寄せた。非常にすばらしいことで、ぜひ実現してほしいと岩根さんを推薦した。結果は岩根さんが4万5000票で、現職市長の阪口さんが5万6000票、1万1000票あまりの差で惜敗したが、得票率を見ると55%が現職不支持だ。過半数を得ていない。惜しくも破れたが、これからも私たちは岩根さんが訴えられた健康に暮らせるまちづくりをめざし、引き続き取り組んでいきたいと思っている。



北大阪地区 平川光彦評議員

軍備より保険医療の充実を

門奈 丈石評議員 (南部地区)

小泉、安倍と続く自民党政権は「改革」や「美しい国」などと美辞麗句を並べ、なんとなく良くなりそうな幻想を抱かせながら、現実には弱肉強食の殺伐とした社会になりつつある。国民の生活や医療も対米追従のため、医療・介護・老人問題などどこまでも切り詰め、医療難民に介護難民を生

んでいる。歯科では政府のいう3・16%どころか、1割に近い報酬のダウンに、膨大な文書の提供や混合診療の拡大に加え、4年後に実施を目指すレセプトオンライン化は、現在の医療の崩壊を招くおそれがあるとともに、ついでにいけない高齢者に廃業を強いるもの。多くの調査

を見ても患者が望んでいるのは文書ではなく、負担が軽くて良い治療が受けられるように保険医療を充実すること。この苦境は一人で悩んでも、他力本願などで打開できない。協会や保団連と力を合わせ正要求の行動を起こすことだ。医療や福祉は締め付ける一方、アメリカの世界戦略の一端

を担う基地の提供費用には気前よく、言われるままとは、政府の視点はどこにあるのか。国民の叫び、我われの切実な声に留意して民生福祉を重視、保険医療の見直しを求める。

改憲の動きについても付け加えたい。改憲を前提とした国民投票法案が十分な審議も尽くされたとは思えないうちに数を頼んで成立した。民主的議会政治とは数かすべてなのか。改憲の目標は9



南部地区 門奈丈石評議員

地域の健診・健康教室活動について

中山 興之評議員 (東大阪・八尾・柏原地区)

当地区においては、協会方針の一つである健診・健康教室活動に積極的

として、医科と連携して実施している。医療生協の人間ドック

を取り組んでいる。地域住民に定期健診の中で、口腔ケアの大切さをアピールして、住民とのつながりを広げて、歯科医院の受診を促すことを目的

として、医科と連携して実施している。医療生協の人間ドックを実施する際、歯

科の健診もセットしてほしいという要望や、わざわざ健診のみに来られる方もいる。昨年10月には、市民まつりや健康まつりを1週間に3回やりたり、06年度は住民健診8回、延べ540人の受診者だった。受診者には歯ブラシを贈呈し、社会保障の問題に関心をもってもらったためにパンフを配布している。その後、受診者が会員の先生方のところに来院し、受診していることも報告されている。



東大阪・八尾・柏原地区 中山興之評議員

去年のむちゃくちゃな改定で歯科医院は崩壊寸前だが、東大阪・八尾・柏原地区はこういった地道な活動をコツコツとやっている。

地区での歯科健診の取り組み

松本 博評議員 (大阪市西部地区)

一昨年、今年度、2回にわたり歯科健診に参加した。一昨年の健診は淀川労働者厚生協会付属西淀・淀川健康友の会主催で、御幣島東公園で野外の大規模な健康まつりだった。盛大な健康まつり

を健診した。一昨年は健診者数が多かったため細やかな相談にこたえることはできなかったが、今年度は時間的に余裕があったので健診者数は少ないながらも、一人ひとりに親身になり健診及び相談にのることができた。健診活動は地道な活動だが、必ず地域住民の利益になると考えられる。この活動で歯科の受診率を向上させ、歯科からできる全身の健康増進に努めたい。これからも協会地区活動として健診の継続の必要性があると思う。個人的には毎年できたらいいと思っている。



大阪市西部地区 松本博評議員

枚方社保協活動について

有地 正評議員 (北河内地区)

枚方社保協について発言する。大阪府歯科保険協会が参加している府・市の団体のへき頭にも大阪社保協の名前があるが、私自身8年前に枚方

まず高齢者の外出を支援するために枚方でシルバークラスの実現を手がけた。続いて障害者の外出に対して枚方市内施設、JR等の駅のバリアフリー及びエレベーターの設置、その他の市に対するいろんな陳情、市議員との懇談等もやってきた。新婦人の会からの要請があって公民館で乳幼児の健診を行ったり、



北河内地区 有地正評議員

困窮者に対して生健会の設立等もやった。今後とも、皆さまのご協力・ご支援をお願いしたい。